



南海トラフ地震の対策指定地域

 } 防災対策推進地域
 }

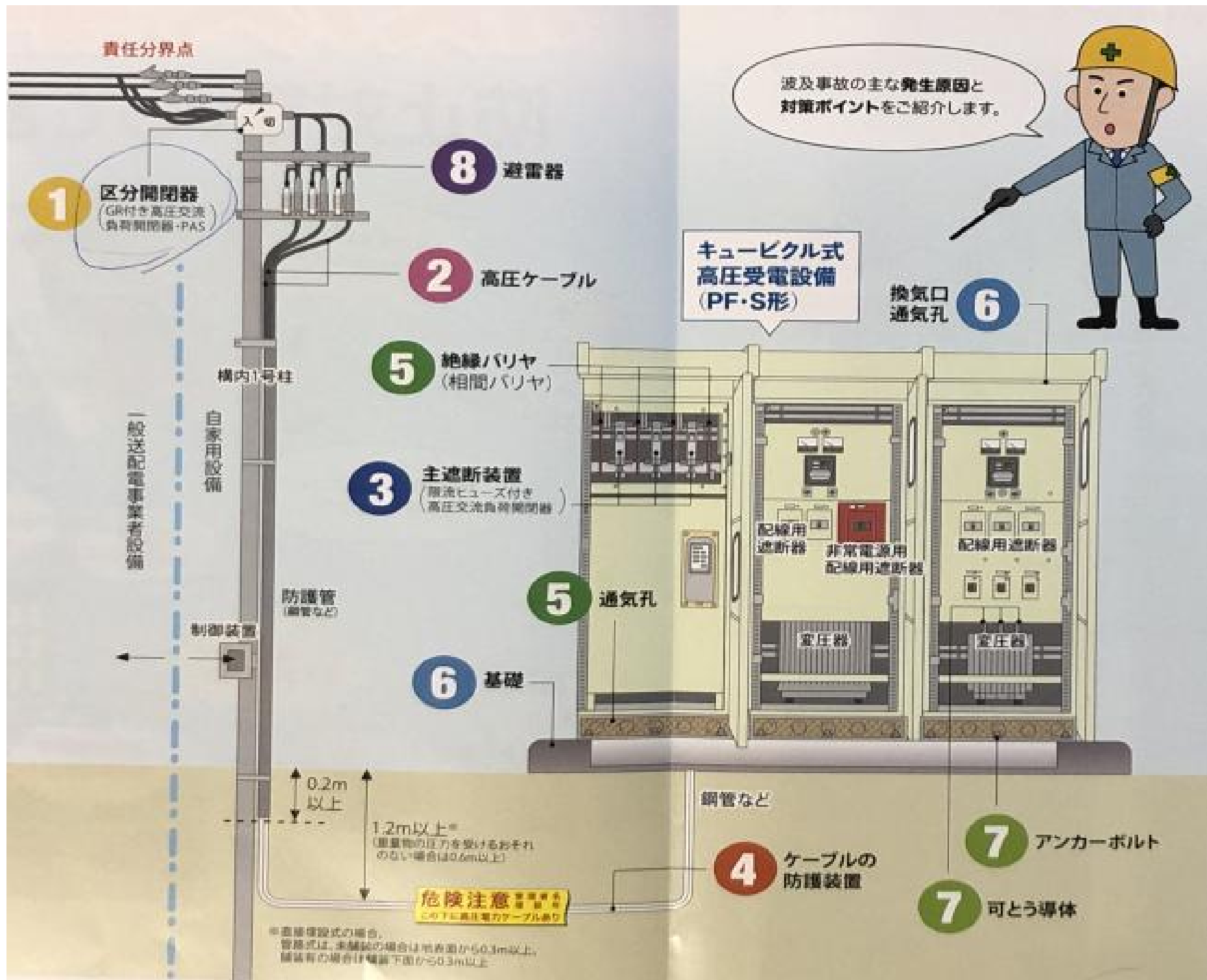
↑
津波避難対策特別
強化地域



	2014年	2018年時点	2023年までの 減災目標
死者・行方不明者数	約32.3万人	約23.1万人	約6.5万人
建物などの被害	約238.6万棟	約209.4万棟	約119.3万棟
直接被害額	約169.5兆円	約171.6兆円	—

(注)2023年までの数値は減災目標をもとに計算した





責任分界点

1 区分開閉器
(GR付き高圧交流負荷開閉器-PAS)

8 避雷器

2 高圧ケーブル

5 絶縁バリア
(相間バリア)

3 主遮断装置
(限流ヒューズ付き高圧交流負荷開閉器)

5 通気孔

6 基礎

キュービクル式高圧受電設備
(PF・S形)

換気口 通気孔 **6**

4 ケーブルの防護装置

7 アンカーボルト

7 可とう導体

波及事故の主な発生原因と対策ポイントをご紹介します。

一般送配電事業者設備

自家用設備

防護管
(鋼管など)

制御装置

0.2m以上

1.2m以上*
(建築物の圧力を受けおそれのない場合は0.6m以上)

危険注意
C40 Fに高圧電カケーブルあり

*直埋埋設式の場合、
管溝式は、本編誌の場合は地表面から0.3m以上、
埋設管の場合は埋設下面から0.3m以上

高圧受電設備の電気事故

波及事故

防止対策、してありますか？

うちの事故が原因で
とんでもないことに！

波及事故の影響について
一緒に考えましょう！

工場
作業停止だ！

自社の受電設備で
電気事故発生！

金融機関
営業が
できない！

高層住宅
水が出ない！

百貨店
エレベーターから
出られない！

病院
停電で手術が
できない！

信号
信号が消えて
接触事故発生！



(平成25・26年度平均)

波及事故発生箇所の割合

